

第4回 感染症科学研究センター研究セミナー開催概要報告

平素より、当センターにご理解いただきまして、誠にありがとうございます。

第4回の研究セミナーを開催いたしました。今回は、一般演題3題と、病態生理学の大谷先生に特別講演をお願いしました。活発なご討議があり、盛会のうちに終了いたしました。下記に開催概要をまとめましたのでご覧ください。

感染症科学研究センター長 金子 明

日時：2018年1月9日（火） 17時30分～19時00分

場所：阿倍野キャンパス学舎4階 小講義室2

内容

□ センター長挨拶 センター長 金子明教授（寄生虫学）



□ 発表

【一般演題】



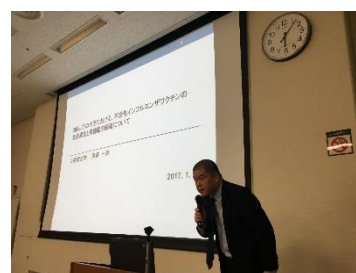
寄生虫学 加賀谷 渉 先生（写真左）

「不均一なマラリア流行地におけるマラリア伝播ダイナミクスの解明—ケニア・ヴィクトリア湖周辺地域のマラリア制圧を目指して—」



臨床感染制御学 並川 浩己 先生（写真中央）

「高粘稠性肺炎桿菌感染症に対する新しい治療戦略の基礎的研究」



公衆衛生学 伊藤 一弥 先生（写真右）

「3歳以下の小児における、不活化インフルエンザワクチンの免疫原性と接種歴の関連について」

【特別講演】 18:00～19:00

病態生理学 大谷 直子 先生

「腸肝軸と肝疾患～腸内細菌代謝物デオキシコール酸による肝がんの進展機構～」



□ 副センター長からの挨拶 副センター長 掛屋弘教授（臨床感染制御学）



□ 懇親会



□ 謝辞

ご発表の演者の皆様、ご出席の皆様誠にありがとうございました。また、今回の準備に際し、多大なるご協力をいただきました事務方の皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。